

『第 2 回 いばらきの地震・風水害に「備える」を考える日 in 水戸』を開催！

～東日本大震災・常総水害の教訓を忘れない～

日本損害保険協会関東支部茨城損保会(会長:柴尾 哲哉 三井住友海上火災保険株式会社 茨城支店長)では、「茨城県地震等災害保険・共済加入促進協議会」で地震リスクの正しい理解や、いつ発生してもおかしくない地震等の災害に対する必要な備えをしてもらうための普及啓発活動に取り組んでおりますが、今般、茨城県、水戸市、茨城県損害保険代理業協会と連携し、11 月 15 日(土)水戸市民会館グロービスホールにおいて、『第 2 回 いばらきの地震・風水害に「備える」を考える日 in 水戸』を開催しました。当日は一般の方を中心に、180 名が参加しました。

『第 2 回 いばらきの地震・風水害に「備える」を考える日 in 水戸』

日 時：2025 年 11 月 15 日(土) 14:00～16:00

場 所：水戸市民会館グロービスホール

主 催：日本損害保険協会関東支部茨城損保会、茨城県損害保険代理業協会

共 催：茨城県地震等災害保険・共済加入促進協議会、水戸市

<プログラム>

開 会 挨拶：柴尾 哲哉(日本損害保険協会関東支部茨城損保会会長)

自治体講座：山元 薫氏(茨城県防災・危機管理課 副参事)

「茨城県の防災行政について」

自治体講座：堀江 春樹氏(水戸市 市民協働部 防災・危機管理課 防災係長)

「家庭でできる災害への備え」

司 会：檜山 沙耶氏(いばらき大使兼防災士)

講 座：赤プル氏(いばらき大使兼防災士)

「赤プル流 防災あるある講座 ～茨城編～」

サイエンスショー：Dr. ナダレンジャー氏

「本当は怖い災害をミニチュアで再現するサイエンスショー ～茨城 Ver. ～」

防災クイズ：「楽しく防災を学ぼう！」

閉 会 挨拶：仁平 光男氏(茨城県損害保険代理業協会会長)

開催に先立ち、主催者を代表して、柴尾茨城損保会長から「東日本大震災から間もなく 15 年の節目を迎え、常総水害(関東・東北豪雨)からは 10 年が経過した。本日のイベントを通して、多くの方に県内の地震などの自然災害のリスクを認識いただくとともに、子供から大人まで年齢を問わず楽しみながら茨城県の防災について学んでいただきたい。」と挨拶がありました。

自治体講座では、茨城県防災・危機管理課の山元副参事から、過去に県内を襲った主な災害と被害状況、県の防災・危機管理体制、万が一に備えるための防災事業の取り組みについての講座がありました。また、水戸市 防災・危機管理課の堀江係長から、在宅避難のための家庭の備蓄品や、避難所の備蓄物資の紹介があり、実際にペットボトルの水を利用した携帯トイレの実演がありました。

常総市出身でいばらき大使である赤プルによる講座では、関東・東北豪雨の際、被災した家族のエピソードからマイタイムライン・ハザードマップ・地震対策・在宅避難など、多岐に渡った防災に関する講座がありました。Dr. ナダレンジャーによるサイエンスショーでは、ミニチュア突風マシーンでの再現や、揺れの速さによる高層・中層・低層ビルの揺れ方の実験など、子供から大人まで楽しみながら、自然災害の発生原理について学びました。

続いて、全員参加による防災クイズ大会を実施し、地震への経済的な備えとして、地震保険は「地震保険に関する法律」に基づき、政府と損害保険会社が共同で運営する公共性の高い保険であることや、東日本大震災では、地震保険の保険金は総額として約1兆3,000億円支払われたこと、その7割が2カ月後までに支払われ、半年後には支払いをほぼ終了していることなどを学びました。

最後に、茨城県損害保険代理業協会の仁平会長から挨拶があり、盛況のうちに幕を閉じました。

アンケートでは、9割以上の聴講者から「わかりやすかった」「地震・風水害の備えとして役に立った」との回答があり、「色々なコンテンツで災害への備えについてわかりやすく、理解できました。」「大人から子どもまで楽しめる内容でよかった。」などの感想が寄せられました。また、家庭のできる防災対策についても、「すぐにでも対策を講じようと思う」(60%)や「今後何か対策を考える必要がある」(40%)との回答があり、今回のイベントが防災に関する意識の変化や行動変容に結び付いたことが認識できました。

当支部では、引き続き、茨城県民の防災・減災に係る意識向上に向けて取り組んでまいります。



開会挨拶(柴尾茨城損保会長)



檜山沙耶氏による司会



自治体講座(茨城県 山元副参事)



自治体講座(水戸市 堀江係長)



赤プルによる講座



Dr. ナダレンジャーによるサイエンスショー



クイズ大会

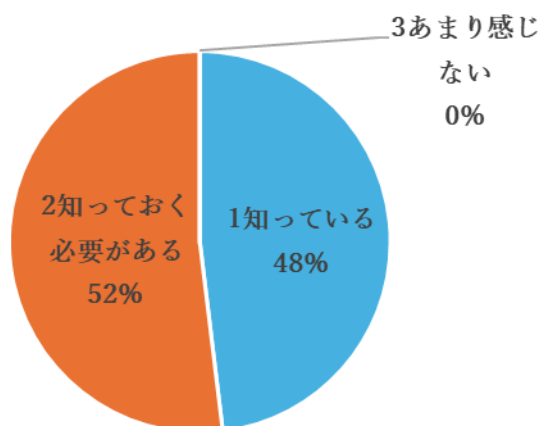


閉会挨拶(茨城県損害保険代理業協会 仁平会長)

【アンケート抜粋】

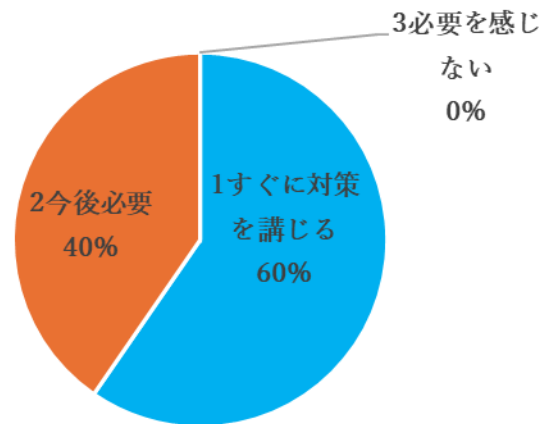
(1) 自分が住んでいる地域の危険性について

1. 地域の危険性はこれまでも知っている
2. これまで知らなかったが、知っておく必要があると感じた
3. あまり必要性を感じていない



(2) 家庭で出来る防災対策について

1. すぐにでも何か対策を講じようと思った
2. 今後何か対策を考える必要があると感じた
3. 特に対策の必要性は感じなかった



(3) 自助としての地震保険・共済の加入の有無や必要性について（複数回答可）

1. すでに地震保険・共済に加入している
2. 地震保険・共済に未加入であるが、加入しなければならないと感じた
3. 地震保険・共済の加入は必要ないと思った
4. 地震保険・共済に加入しているかわからない

